

授業科目名 (科目コード) 音楽Ⅳ 声乐【1137】 器楽【1138】	教員の免許状取得 のための必修科目	単位数 1単位	担当 教員名	声乐担当教員、器楽担当教員	対象区分	すべて	—	—
			担当形態	クラス分け		—	—	—
科 目		教科に関する科目(幼二種免)						
施行規則に定める科目区分		・音楽						
授業の 到達目標 及び テーマ	高度な声乐とピアノ技法の修得。「音楽Ⅲ」で学んだ声乐とピアノの知識や技術の更なる向上を目的とする。これまでに修得した幼稚園の教育に必要な音楽の知識や技術を、本授業を通じて更に確かなものにしていく。また日常の教育活動ならびに声乐とピアノの授業(ピアノは個人レッスン)を通じて幼児教育の音楽的表現の基礎的技術力を養う。そして「ピアノ曲」と「子どもの歌」の弾き歌いを練習してレパートリーを増やすことで多くの楽曲による表現方法を修得する。							
授業の 概要	声乐技法の修得として発声法を学修し、読譜力・音程・リズムの理解と実践を行う。そして童謡、日本歌曲、外国歌曲で歌唱法を学ぶ。ピアノは演奏の高度な知識と技術を個人指導で学ぶ。							
授業計画	<p>第1回：発声法、階名唱、発音の理解と実践</p> <p>第2回：音程重視の歌唱練習、発声法</p> <p>第3回：リズム重視の歌唱練習</p> <p>第4回：子守歌の歌唱練習</p> <p>第5回：わらべ歌の歌唱練習</p> <p>第6回：民謡の歌唱練習</p> <p>第7回：歌詞の理解と表情豊かな歌唱</p> <p>第8回：声乐試験</p> <p>第9回：次の(A)(B)の楽曲について、事前学習の成果を発表する(受講までにしつかり学習しておくこと)</p> <p>(A)子どもの歌(弾き歌い)を2曲 ※「音楽Ⅲ」で選択したテストは除く テキスト「こどものうた200」の中から選択すること。なお次の番号の楽曲は<u>除く</u> No.1~32、32~40、42、43、48~50、52、60、61、63、66、153~155、157</p> <p>(B)各自が選択したピアノ曲1曲を暗譜する ※「音楽Ⅱ」「音楽Ⅲ」で選択したテスト曲は除く ただし、クラシックジャンルのピアノ曲とし、全演奏時間は5分以内で完結する曲とする。また次の楽曲は<u>除く</u> ・バイエル教則本の終了レベルより難位度が低い曲 ・簡易楽譜によるもの ・ツェルニー練習曲 ・対位法楽曲 ・自作曲</p> <p>なお、バイエル終了していない場合や、ピアノ初心者の方は、次の指定する6曲のバイエル教則本から2曲を<u>選択</u>して暗譜すること 原書番号のNo.81、93、94、96、98、102 ※子どもの歌(弾き歌い)で歌唱する歌詞は、楽譜内に記載されている歌詞を歌唱して、楽譜外の歌詞は省略すること ※ピアノ曲は繰り返しも入れて演奏すること</p> <p>第10回：子どもの歌(弾き歌い)とピアノ曲のレッスン①</p> <p>第11回：子どもの歌(弾き歌い)とピアノ曲のレッスン②</p> <p>第12回：子どもの歌(弾き歌い)とピアノ曲のレパートリーをひろげる</p> <p>第13回：子どもの歌(弾き歌い)とピアノ曲の暗譜のレッスン</p> <p>第14回：試験曲の決定と試験曲のレッスン</p> <p>第15回：試験と今後の学習に向けたアドバイス 試験曲：子どもの歌(弾き歌い)2曲・ピアノ曲1曲(バイエルは2曲) ※ピアノ曲1曲(バイエル2曲)は暗譜とする</p> <p>※曲の指定を読み間違えないように注意してください。</p>							
テキスト	「世界名歌曲全集」ケイ・エム・ピー kmp 発行 ピアノ伴奏日本童謡唱歌全集～心に残る日本の歌～」ケイ・エム・ピー kmp 発行 「こどものうた200」小林美実チャイルド社 「標準バイエル・ピアノ教則本」全音楽譜出版社発行(バイエル使用の学生) 「各自が選択したピアノ本」							
参考書・ 参考資料等	なし							
学生に 対する評価	受講までの学習の様子や受講態度、試験によって総合的に評価する							
持参物	上記テキスト 五線紙							